

2年生

お話

クリモモの森

④

年 組 名 前

時間

15分

点数

クリア40点

/40点

フートのお話^{はなし}②

つりをはじめて、もう一時間^{いちじかん}がたちました。

なのに魚^{さかな}は、一匹^{いっぴき}もつれていません。

「つれないねえ」と、フーガ。「つれるさー!」フートはフーガにいうというよりは、じぶんへというようにいいました。

フートは、おばあちゃんの元気^{げんき}なすがたを思い^{おも}うかべます。それはこのところ、見ていないすがたです。だからフートはあばあちゃんに、アマミを食べて元気^みになってもらいたいのでした。

「ぜったいにつつてやる」

フートは心^{こころ}の中^{なか}でいいました。

それから、さらに一時間^{いちじかん}。お昼^{ひる}ごはんの時間^{じかん}は、とつくにすぎています。

「にーちゃん、おなかすいた」

フーガの声^{こゑ}は聞こえていましたが、フートは何もいいかえさずに、つりざおの先^{さき}を見ています。

と、そのときです。

「にーちゃん!」

フーガのつりざおが、つよく池^{いけ}に引^ひかれました。魚^{いし}が、かかったのです。

フートは自分^{じぶん}のつりざおを地^じめんにおいて、池の中^{いけのなか}へともつていかれそうになっっている、フーガのつりざおをつかみます。

「しっかりとつてろよ!」

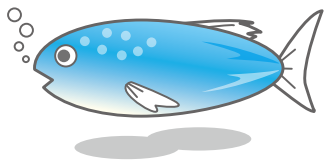
「う、うんっ」

①

二人^{ふたり}は一つのつりざおを、いっしょうけんめいに引^ひっぱりました。

「もうすこし! がんばれフーガ!」

フートの声^{こゑ}に合わせて、二人^{ふたり}はグイッとつりざおを引き上げました。



バシヤン！

池いけの中から大きなアマミがはね上がり、二人ふたりはそれを地上ちじょうにつり上げました。地じめんではビチビチとはねるアマミを、フートとフーガが、二人がかりでとりおさえます。

「やったなフーガ！ すごいじゃん。こんなんでつかいの、なかなかいいぜ」

「うん！ にーちゃん」

フーガはとってもうれしそうです。フートも自分じぶんでつったわけではありませんが、とてもうれしく思おもいました。

二人はつった魚さかなを、もってきていたふくろに入いれます。

「これで、ばーちゃん元げん気きになるぞ！」

魚いしが入いったふくろをもち上げて、フートがにつこりわらうと、弟あにのフーガも兄おなと同じ顔かおをしました。

フートのお話「おわり」 ロロのお話①につづく

お話…みそにゃch（みそはぱ）

1

お話を、声こえに出い出して読よんでみよう 【10点】

2

お話を読よんで、問もんだいに答こたえよう 【1つ10点】

(1) ① 二人は一つのつりざおを…とありますが、「二人」とはだれとだれのことですか？
() () () () () ()

(2) ① 二人はそれを…とありますが、「それ」とは何ですか？
() () () () () ()

(3) ③ 弟のフーガも兄と同じ顔をしました…とありますが、それはどのよ
うな顔ですか？
() () () () () ()